

能

熊野 安達原  
白頭急進之出

今村 哲朗

今村 嘉太郎

# 今村兄弟会

嘉太郎・哲朗の会

狂言

佐渡狐 野村 万禄

2019年12月8日(日)  
大濠公園能楽堂

13:00 開演 (12:15 開場 / 17:00 頃終了予定)

S席10,000円 ・ A席8,000円  
自由席6,000円 ・ 学生自由席3,000円

※未就学のお子様はご入場できません。

能をもっと楽しむための事前講座

11月16日(土)13:00~  
11月23日(土)18:00~ 於 大濠公園能楽堂

※事前講座は12/8のチケットをご持参の方は無料です。持っていない方は1000円となります。

詳しくはQRコードを参照下さい▶

その他開催の事前講座もご確認いただけます。



要予約

音声ガイド 500円

ナレーション

夢語り千夜 静

※保証金1,000円をお預りします。※保証金は機器返却時に返金します。  
※台数に限りがありますのでお早めにご予約下さい。

主催 | 今村嘉太郎後援会

後援 | 一般社団法人九州アジア次世代経済協議会・福岡市・(公財)福岡市文化芸術財団・毎日新聞・西日本新聞

# 熊野

熊野 今村嘉太郎  
 朝顔 井戸 良祐  
 平宗盛 御厨 誠吾  
 従者 坂苗 融  
 笛 相原 一彦  
 小鼓 飯田 清一  
 大鼓 白坂 保行  
 後見 大西 智久  
 坂口 貴信

地謡 今村 嘉伸  
 多久 高利之  
 大西 礼久  
 森本 哲郎  
 今村 一夫  
 久保誠一郎  
 宮本 茂樹  
 井内 政徳

遠江の国(現在の静岡県)、池田宿の女主人である熊野(ゆや)は、京の都で、平家の公達で権勢を振るう平宗盛(たいらのむねもり)に仕えています。このところ故郷の母の病状が思わしくないと聞き、故郷に帰りたいと、休暇を願い出しますが、宗盛は今年の花見までは一緒に過ごそうと言って、聞き入れません。その頃、熊野の一家の侍女である朝顔が、母の手紙を持って訪れます。文には、病状が思わしくなく、今生の別れが来る前に一目でも会いたいという切々とした母の願いがしたためられていました。

一刻も猶予はないと熊野は、母の手紙を宗盛に読み聞かせ、帰郷の許しを一心に願います。しかし宗盛は、許すどころか清水寺の花見に同行するように命じます。

春爛漫の中、楽しげな都の人々の様子を見ても、熊野の心は故郷への思い、母への気遣いで沈みがちです。心ならずも酒宴で舞を舞っていると、急に時雨が来て、花を散らしてしまいました。これを見た熊野は、母を思う和歌を一首読み上げました。

その歌はかたくなな宗盛の心に届き、ようやく帰郷が許されます。熊野は、宗盛が心変わりしないうちに、と急いで京を立ちました。



# 狂言 佐渡狐

佐渡国 野村 万禄  
 越後国 吉住 講

奏者 吉良 博靖  
 後見 杉山 俊広

## 休憩 (20分)



# 熊野 安達原

白頭 急進ノ出

里女・鬼女 今村 哲朗  
 山伏裕慶 御厨 誠吾  
 供 山 坂苗 融  
 能力 吉住 講

地謡 大西 礼久  
 馬野 正基  
 坂口 貴信  
 今村 一夫  
 久保誠一郎  
 山口剛一郎  
 宮本 茂樹  
 井内 政徳

紀伊国(今の和歌山県)那智、東光坊(とうこうぼう)の修験者、阿闍梨祐慶(あじりゆうけい)は、同行の山伏らと共に、諸国を巡る修行の旅を続けていました。ある日、陸奥(みちのく)に辿り着いた一行は、人里離れた安達原(今の福島県安達太良山麓)で夕暮れを迎えてしまいます。そこに一軒だけあったあばら家を訪ねたところ、相応に年齢を重ねたと見える、女の一人住まいでした。祐慶たちは、女に一夜の宿を頼みますが、あまりにもみすぼらしいから、といったん断られます。あてのない一行は重ねて頼み込み、何とか泊めてもらうことになりました。家の中で祐慶は、見慣れない道具を見つけ、女に尋ねます。すると女は、杵杵輪(わくかせわ)という糸織りの道具であり、自分のような賤しい身分の者が取り扱うのであると答え、祐慶の求めに応じて糸織りの様子を見せます。女は、辛い浮き世の業から離れられない我が身を嘆き、儂い世をしみじみ語ります。夜も更け、女は夜寒をしのぐために薪を取りに行くのと祐慶に告げ、留守中に決して自分の寢室を覗かないようにと念押しして出ていきます。ところが祐慶の従者のひとり是我慢で、祐慶に戒められながらも、とうとう女の部屋を覗いてしまいます。

すると、そこにはおびただしい数の死骸が山のように積み重なっているではありませんか。女は、安達原の黒塚に住むと噂にのぼっていた鬼でした。慌てて逃げ出す祐慶たちに、鬼に変身した女が、秘密を暴かれた怒りに燃えて追いかけて、取って食らおうとします。しかし祐慶たちが、力を振り絞って祈り伏せると、鬼女は弱り果て、夜嵐の音に紛れるように姿を消しました。



笛 森田 徳和  
 小鼓 幸 正佳  
 大鼓 白坂 保行  
 太鼓 吉谷 潔  
 後見 坂口 信男  
 今村嘉太郎



今村 哲朗  
 観世流能楽師

今村 嘉太郎  
 観世流能楽師

1981年福岡生まれ大阪在住  
 大西智久に師事。3歳老松にて初舞台。  
 幼少より祖父・誠・父・嘉伸に稽古を受け、東京藝術  
 大学卒業後、大西智久の内弟子として入門。

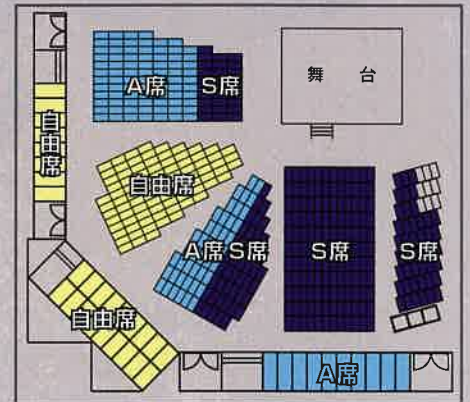
2010年独立。「石橋」「乱」「道成寺」を抜く。  
 韓国、ルーマニア、ブルガリア、フィンランド等  
 海外公演に参加。

能楽大連吟、大阪能楽大連吟、福岡能楽大連吟主催  
 霜乃会同人/公益社団法人能楽協会会員

1980年福岡生まれ福岡在住  
 大西智久に師事。  
 二歳半の時に能「鞍馬天狗」の稚児で初舞台。  
 幼少より祖父・誠・父・嘉伸に稽古を受け、東京  
 芸術大学卒業後、大西智久の内弟子として入門。

2010年独立。  
 「石橋」「乱」「道成寺」「望月」を抜く。

福岡能楽大連吟主催  
 公益社団法人能楽協会会員



## 大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1番5号  
 [アクセス] 地下鉄大濠公園駅または唐人町駅から徒歩7分  
 西鉄バス大濠公園または黒門バス下車徒歩3分

チケット  
 取り扱い

今村嘉太郎後援会  
 今村嘉太郎 HP  
 大濠公園能楽堂  
 チケットぴあ

TEL. 070-5416-2621/FAX. 092-841-4800  
<https://yoshitaro.jp>  
 TEL. 092-715-2155  
 [Pコード 497-602]

